

秋冬作の牧草の刈り取り作業終了

—48トンのCO₂を吸収し72トンの牛乳を生産—

秋冬作の代表的な牧草であるイタリアンライグラスの刈り取り作業は、天候にも恵まれほぼ予定どおりに終了しました。7haの牧草地から255個のロール（約250kg）を収穫し、初冬までの自給飼料が準備できました。

刈り取った約210トンの牧草は、生育中にガソリン21キリットルからの発生量に相当する48トンのCO₂を吸収し、乳牛に与えることで72トンの牛乳に生まれ変わります。



専用の草刈機で1haを1.5時間で刈り取り



来訪者は作業やラップに興味津々